

3月定例会の報告

令和3年3月定例会が2月24日から3月24日までの29日間の会期で開催されました。

定例会初日には、諸般の報告1件、監査報告5件、人権擁護委員の推薦についての諮問3件、令和2年度一般会計補正予算（第7号）、令和3年度一般会計予算など55議案が上程されました。

諸議案の審議に先立ち、福田市長から「施政方針」について説明がありました。コロナ禍において、これまでのまちづくりの流れを止めることなく、しっかりと取り組んでまいりたいとの方針が示され、岩国市の重要課題に対する基本的な考え方、「子育てといきいきとした暮らしを応援するまち」「誰もが安心・安全に暮らせるまち」など6つの基本目標と、それを支える行政経営について説明がありました。

一般質問は、3月5日から10日までの土日を除く4日間、21人の議員が登壇し、市長の施政方針をはじめ教育問題、福祉対策、市のまちづくり、農林振興策など、幅広い分野について活発な質問が行われました。

一般質問の4日目には、新型コロナウイルス感染症に係る対応策として実施する事業に必要な経費を計上する補正予算（第8号）が上程されました。

歳入では、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の追加交付分など、歳出では、市内経済の活性化を図る「岩国市プレミアム商品券（第2弾）」を発行するための経費、観光ホームページの多言語化を行うための経費などで、補正額8億4,866万7,000円が計上されました。

各議案は、15日から4日間にわたって開催された4常任委員会に付託され、審査が行われました。

最終日の24日、市長から、議案第57号 令和2年度一般会計補正予算（第8号）の撤回について説明がありました。撤回の理由は、歳入において計上した国庫支出金のうち、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」「疾病予防対策事業費等補助金」及び「地方創生テレワーク交付金」に係る国の交付決定が、令和3年4月以降になり、これらの交付金等は、令和3年度予算に計上された事業でなければ充当できないため撤回するというもので、採決の結果、全会一致で撤回を承認することに決しました。

続いて、各常任委員会の委員長から審査報告があり、全ての議案が原案のとおり可決されました。

続いて、議案第58号 令和2年度一般会計補正予算（第9号）、及び、議案第59号 令和3年度一般会計補正予算（第1号）が上程されました。

議案第58号の補正予算は、歳入では、国の令和2年度補正予算の成立を受けて実施する「学校保健特別対策事業」に係る国庫補助金や寄付金など、歳出では、市内の小中学校に消毒液、非接触型の体温計などの衛生用品や換気に必要な備品を整備するための経費など、補正総額4,480万円が計上され、採決の結果、原案のとおり可決されました。

議案第59号の補正予算は、歳入では、国の令和2年度補正予算の成立を受けて実施する「新型コロナウイルス感染症検査事業」等に係る国庫補助金など、歳出では、イン

ターネットを通じて入札から開札までの手続を行う「電子入札システム整備事業」、岩国市プレミアム商品券（第2弾）として、1世帯当たり2セットを上限として市内全世帯が購入できるように発行する「岩国市プレミアム商品券発行事業」に係る経費など、補正総額8億 387万 7,000円が計上され、採決の結果、原案のとおり可決されました。

続いて、防災・減災対策推進調査特別委員会の委員長から、主に避難所等の運営体制に関する調査の中間報告がありました。

日程の最後に、議員提出議案「岩国市議会会議規則の一部を改正する規則」が提出され、審議の結果、原案のとおり可決し、閉会しました。